



■発行 一般社団法人
群馬県介護福祉士会事務局
〒371-8525群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉協議会
地域福祉課内
TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173
URL <https://www.gunma-careworkers.net/>
E-mai info@gunma-careworkers.net

Vol.110 2023. 3

令和4年度第3回通常理事会開催報告

12月14日に令和4年度第3回通常理事会が、理事17名・監事2名・事務局1名が出席して、オンラインにて開催されました。主な協議内容は以下の通りです。

1) 令和5年度社員総会について

- ・委任状の回収率を上げるための取り組みについて協議を行う。
- ・記念講演はオンラインで行うことが承認され、講師についての協議を行う。

2) 令和5年度事業計画及び予算の作成について

- ・令和5年度事業計画及び予算の作成の進行について協議を行う。

3) 社員総会規則の制定について

- ・社員総会規則を令和5年度社員総会に諮れるよう進行していくことが承認される。

4) 令和5年度支部交付金について

- ・令和5年度の支部交付金は現行の一人あたり1,000円を800円に減額することが承認される。

5) 研修協力員のデスクネットの活用について

- ・現在役員及び事務局で使用している情報共有ツールを研修委員会協力員も限られた権限内にて活用できるようにすることが承認される。

6) 令和5年度ファーストステップ研修について

- ・総会前より全科目オンラインにて開催することが承認される。

7) インスタグラムの公式化について

- ・新しいSNSとしてインスタグラムを公式運用すること、及びそれに伴い、情報公開に関する内規を一部改正することが承認される。

8) 即時決済システムの導入について

- ・日本介護福祉士会の研修管理システムを活用し、即時決済システムを導入することが承認される。

また、報告事項については、会長及び常任理事の業務の執行状況、令和4年度上期監査の実施、介護の日周知事業映画上映会の開催などについて報告がありました。

令和5年度の社員総会では、定款の一部改正を諮る予定となっています。定款の一部改正の決議には、議決権を要する正会員の3分の2以上の出席が必要となります。来年度になりましたらご案内いたしますので、ぜひ、委任状の提出についてご協力をお願いいたします。

副会長 佐藤 智昭

～ 令和5年度のファーストステップ研修を受講しませんか？～

本研修は、日本介護福祉士会の“生涯研修体系”に位置付けられ、介護福祉士が、尊厳を支えるケアを実践するための役割と能力を備え、小規模チームのリーダーとして初任者などを指導できるレベルになることを目的としています。

【ケア】【連携】【運営管理基礎】の3領域について、講義・演習による集合学習（15回）と事前・事後課題提出（通信学習）の総時間数200時間で構成されています。集合学習では、講義や受講生同士の意見交換などを通して日々の業務を振り返り、自身の介護福祉に対する考え方や新たな気づきを得ることができます。事前・事後課題では、自身のケアを客観的に捉えて言語化することで、集合学習の効果を高めます。

介護福祉士として活躍する皆さまが、本研修を通してリーダーシップスキルの向上や資格の専門性を高め、より一層のスキルアップとキャリアアップを目指すことができる研修です。

受講生からは『ファーストステップ研修を受講して、仕事とは違う雰囲気の中で、他の受講生の方々と学び、毎回様々な知識を吸収出来ていると感じています。仕事と研修の事前・事後課題の両立で大変な日々が続いていますが、これからも研修で沢山の知識を吸収して、現場に活かしていけるように頑張っていきたいです。』と、受講後の活躍が期待される言葉も聞かれています。

令和5年度は全科目オンラインでの開催となります。詳細は、会報・本会ホームページでご確認ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

介護福祉士の専門性を確立するため、共に学びましょう！

研修はどれも同じ？
ファーストステップ研修の実力

介護福祉士に求められる実践力とマネジメント力を総合的に養成

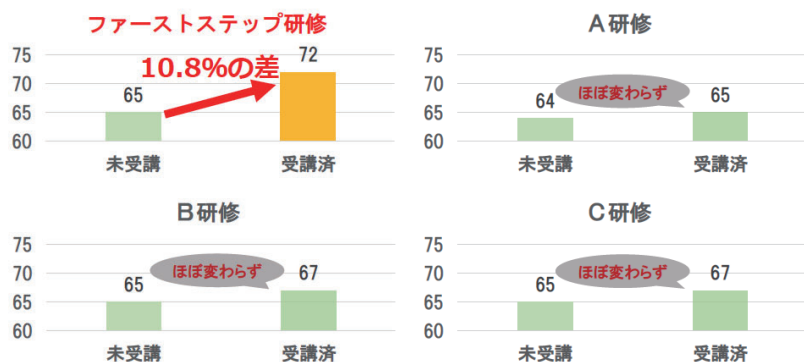
【調査の概要】
令和5年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業「介護福祉士資格取得後のキャリアアップと研修活用の在り方に関する調査研究事業」日本能率協会総合研究所

【介護福祉士に求められる20項目に関する受講者の能力】
対象：介護施設・事業所に所属する介護福祉士 2,510名
質問：（20項目について）あなたが現在の就業先でどの程度「実践」できているか、あなたの考えを教えてください。（それぞれ最もあてはまるもの1つにチェック）
集計：選択肢の各項目「高いレベルで実践できる／やや高いレベルで実践できる／通常のレベルで実践できる／実践できることもある／あまり実践できない」を5～1点で得点化し、加重平均値を算出。各資格の受講者ごとに集計。

公益社団法人日本介護福祉士会（2022/11/10）

介護福祉士に求められる20項目（A1～B10）について、各研修の受講の有無で実践力に違いはあるか？

ファーストステップ研修の違いは圧倒的！



集計方法：「求められる介護福祉士像」と「リーダーとして求められる能力」の各能力の平均得点を合計し、100点満点換算した。

- | | |
|---|--|
| <p>【求められる介護福祉士像】</p> <ul style="list-style-type: none"> A1 自尊と自己を支えるケアを実施する A2 専門職として自発的に介護職の発展を図る A3 身体的な受援だけでなく、心理的・社会的受援も展開できる A4 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる A5 QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、療養介護、終末期の支援の質の向上に対応できる A6 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が暮らす生活を支えることができる A7 関係領域の基本知識・応用知識を駆使し、他職種協働によるチームケアを実施する A8 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記録ができる A9 制度を運用し、地域社会のニーズに対応できる A10 介護職の中で中核的な役割を担う | <p>【リーダーとして求められる能力】</p> <p><介護の発展にかかわる能力></p> <ul style="list-style-type: none"> B1 利用者や家族の状況に応じた支援が提供できる B2 利用者の状況や期待等に応じた介護等の提供ができる B3 認知症の症状や期待等に応じた介護等の提供ができる B4 多職種と連携しながら業務を遂行できる <p><育成・指導にかかわる能力></p> <ul style="list-style-type: none"> B5 利用者のQOL(生活の質)の向上に資するエビデンスに基づいた介護技術の指導・伝達ができる B6 個人の介護職員の成長・能力の把握ができる B7 上記能力・能力の把握をしたうえで、個々の介護職員の能力を開発していくことができる <p><サービスのマネジメントにかかわる能力></p> <ul style="list-style-type: none"> B8 詳細計画に基づいた介護が実施されているかを、そのサービスの質とともに把握できる B9 上記把握をしたうえで、その向上・改善に向けた対応ができる B10 サービスのマネジメントのため、多職種・多機関の協働で適切な情報やりとりができる |
|---|--|

事業者さまへ

本研修は、小規模チームのリーダーや初心者等の指導係りとして活躍できる人材の育成を目的とした研修です。介護職のキャリアアップ要件として活用されている施設もあります。ぜひ、職員の皆様への情報提供や研修受講のご支援をお願いいたします。なお、本研修は「人材開発支援助成金」の対象となります。

研修委員長 田中 栄

支部活動報告

【支部委員会主催の研修】

支部委員会では、会員や非会員、そして様々な専門職の方々にも参加していただけるような研修や交流会を企画・運営しています。

毎年、開催している〔新人定着研修〕と〔中堅職員向け研修〕は、現場の介護職員に特化した内容になっています。

新人定着研修では、新人介護職員の抱えている悩みやコミュニケーションの回り方など、自職場だけで解決が難しい課題に対して、境遇の似た方々と共に座学やグループワークに取り組みます。

情報交換や悩みなどを共有できる場を設け、受講者の皆さんにとって明日からのヒントや気づきを自職場に持ち帰り、モチベーション維持や今後の原動力になるような研修内容になっています。

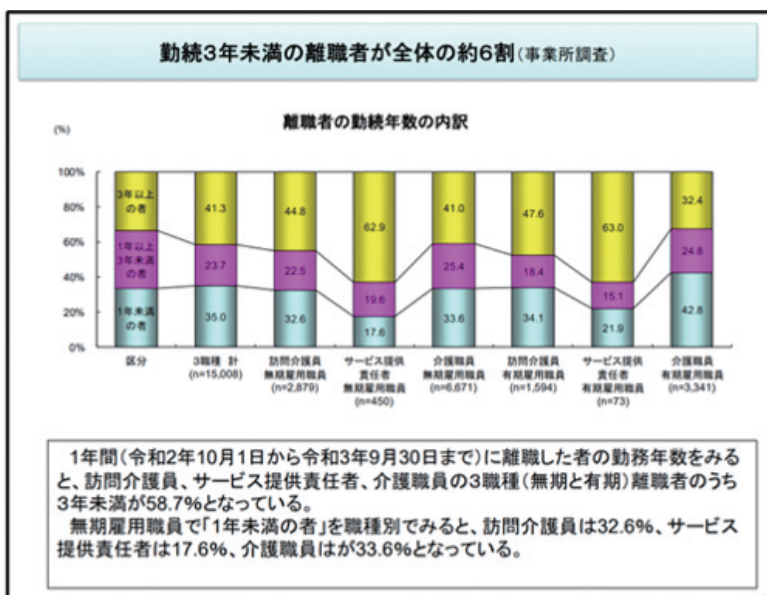
そして中堅職員向け研修では、中間管理職や管理職を対象とした研修を開催しています。

自職場をまとめる大きな役割を担っている方々に向けた研修となっており、1日研修という時間と内容が濃いものとなっております。役職という職責があるからこそその悩みや、職位の異なる方々との関わり方など、座学とグループワークを交え、深掘りできる研修となっております。

上記2つの研修は、補助金事業として運営をしているため、受講料もお得に設定しています（昨年は無料開催）。職場の仲間や先輩後輩にもお声がけいただき、奮ってご参加いただけたらと思います。

【感染症対策について】

群馬県介護福祉士会の研修では、会場内の常時換気をはじめ、休憩時間中のテーブル消毒、出入り口の区別、手指消毒の励行、マスク着用、グループワーク時のフェイスシールド（研修毎に受講者へ配布）、食事場所の個別化への理解等、受講者のご協力を得て、これまで大きな混乱もなく研修運営ができています。どうぞ、安心して研修参加をご検討ください。



介護労働安定センター『令和3年度 介護労働実態調査』



～ 書籍紹介 ～

『よけいなひと言を好かれるセリフに変える 言いかえ図鑑』

著者 大野 萌子 出版社 サンマーク出版

コミュニケーションツールである「言葉」は、たった一言で相手の感情を揺さぶることが出来ます。喜ばせることも、悲しませることも出来るのです。良かれと思って話した言葉は誰もが共感してくれるとは限りません。

本書では「よけいなひと言」を「好かれるセリフ」に言いかえるパターンを、141例、15章のシーン別にわけて解説されています。

豊かな人間関係構築の一助となればと思い、ご紹介させて頂きました。

理事 福田 亮一



『バカと無知』

著者 橘 玲 出版社 新潮社

【記録にまつわる残酷な真実】

ショッキングな題名です。ですが、中身はもっと衝撃的。例えば「日本人の3人に1人は日本語が読めない」

え、それでは記録は？介護過程の意義は？と背筋が寒くなります。一方でLIFE導入や写真や動画による記録方法の勃興がすくと腑に落ちたり。そんな経験を与えてくれる貴重な書なのです…。

ちなみにこの本を興味本位で読むのはお控えください。きっと不安をあおられますから。

会員 小須田 恭子



『ポケット介護シリーズ 楽になる認知症ケアのコツ』

著者 山口晴保、田中志子、大誠会認知症サポートチーム 出版社 技術評論社

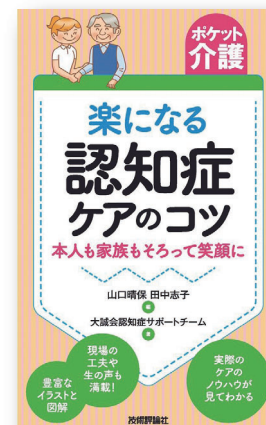
介護の業務に携わる中で入所者様の対応に迷い、同僚たちと考える契機にしたいと思い、書店で選んだ本です。

大誠会様で実践されている対応例が根拠をもって示されており、細かいテーマごとに書かれていることから、今も都度読み返して普段の介護を見直しています。

また、この本は家族介護をされている方にも分かりやすく、力を与えてくれる本と感じます。知人が折々の参考にしています。

介護に携わる様々な場面や人に力を与えてくれる本です。

会員 小貝 博



* 編集後記 *

今年度より年間6回の会報の内、1回がホームページ掲載号となりました。会員はもとより、県民の皆様へ会活動が広く周知されるよう、これからも広報委員として取り組みます。

また、フェイスブックのみだったSNSでの広報にInstagramが加わりました。既存の広報と共に「群馬県介護福祉士会」で検索・フォローをよろしくお願い致します。

常任理事 佐川 祥吾